

大学院 GP 用アプリケーションサーバーの使用について

2009/05/07 沖田昌仁

原則

- ・ 使用者はアプリケーションサーバーにリモートログインし、ソフトを使う。
- ・ サーバーに同時にログインするのは一人のみ。
- ・ 使用予約を GP スタッフ用・学生用ページの Google カレンダーに書き込む。予約は先着順
- ・ 自分が作成したファイルは、常に自分の PC に保存しておく。

(例外)

- ・ どうしてもソフトを外部で使いたい場合は、担当教官からソフトのインストールと USB ドングルの持ち出し許可をもらう。許可がもらえた人は、Google カレンダーに持ち出し期間と下記項目
 - 使用ソフト名
 - 持ち出し人氏名
 - 連絡先(tel. & email)

を明記しておく。その間別のソフトを使用したい人は Google カレンダーに予約入れてかまわない。

- ・ SCIGRESS を使用する人は、宮川先生から許可をもらい、各研究室の PC にソフトをインストールする。使用予約は他と同様 Google カレンダーに書き込む。このソフトを使用する間は、同時に他のソフトを使用してもよい。(サーバーには認証を求めるだけで負荷がかからないので)

アプリケーションサーバーを使用する手順

1. Windows XP professional 搭載のコンピューターから「リモートデスクトップ接続」を行い、サーバーにログインする。(リモートデスクトップ接続の詳細、ならびにファイルのコピーの設定については、次ページ以降に記載)

コンピューター: nanoimg-appli.tp.chiba-u.jp

ユーザー名: nanoimg

パスワード: calcGP

2. 所望のソフトを使う。
3. 作成されたファイルは自分の PC 上に保存し、「ログオフ」。

現在、アプリケーションサーバーにインストールされているソフト、ならびに担当教官

1. Image Metrology (青木伸)
2. OptiFDTD (坂東)
3. OptiBPM (尾松)
4. CrystalMaker (柴)
5. SCIGRESS (宮川)

Silverlight をインストールするには、ここをクリックします

Japan 変更 | すべてのMicrosoft のサイト



Microsoft Windows XP Professional

Windows XP ホーム | Windows ホーム | サイトの使い方

Windows XP Professional

製品情報

購入情報

導入事例

ユーザー別情報

ホームユーザー

学生向け

ビジネスユーザー

IT プロ向け

開発者向け

リソース

活用ガイド

ダウンロード

サポート

エキスパートゾーン

互換性情報

アップグレード情報

ユーザー登録

Windows ファミリ

[Windows XP Professional](#) > [ビジネス エンド ユーザー向け情報](#) > [Windows XP 機能別紹介](#)

リモートデスクトップ編

...

Step 1 リモートデスクトップで接続できるように設定する

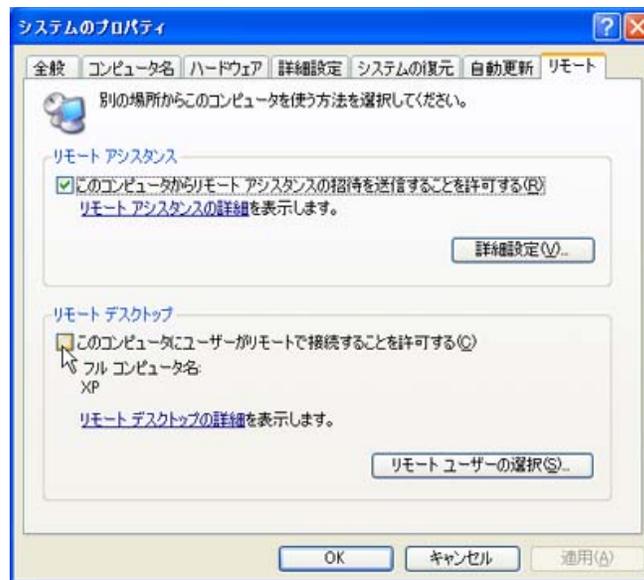
リモートデスクトップ機能を使って自分のコンピュータに外部からアクセスさせるには、Windows XPの設定を変更する必要があります。[スタート] - [マイコンピュータ] - [プロパティ] をクリックします。



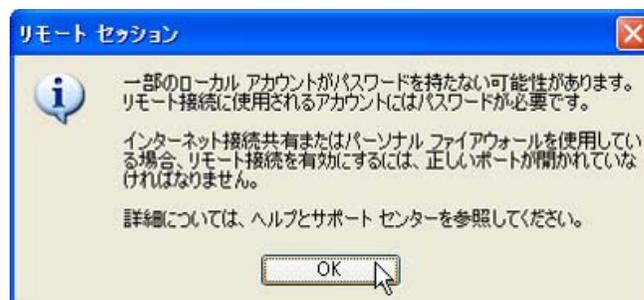
[システムのプロパティ] が表示されたら [リモート] タブをクリックします。



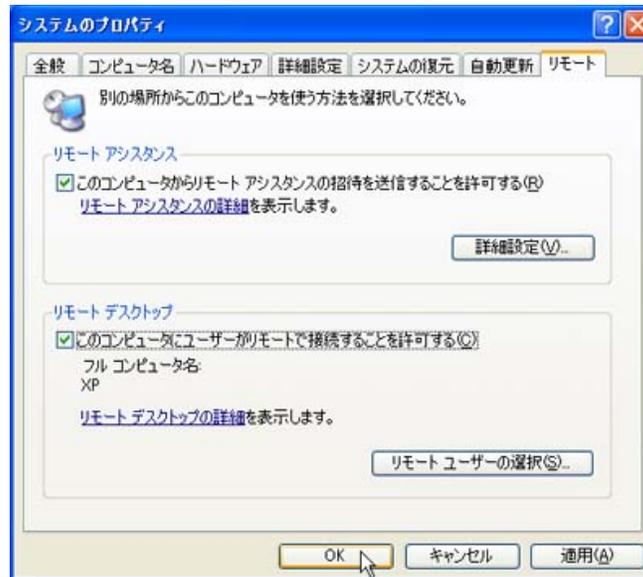
➔ [リモート] タブが開かれたら、[リモートデスクトップ] 内にある [このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する] をクリックしてチェックを入れます。



➔ すると、このようなメッセージが表示されますので一通り読んでから [OK] をクリックしてください。



➡ [このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する] にチェックが入っているのを確認したら [OK] をクリックします。これで準備は完了です。



[ページのトップへ](#)

Step 2 ほかのコンピュータからリモートデスクトップに接続する

➡ リモートデスクトップに接続するには、[スタート] - [すべてのプログラム] - [通信] - [リモートデスクトップ接続] をクリックします。利用しているOSがWindows XPでない場合も、Windows XPのCD-ROMがあれば、Windows 98やMe、2000に接続用のソフトをインストールすることができます。



➡ すると、リモートデスクトップに接続するためのダイアログが表示されます。接続する前にログイン方法や、回線速度などの設定を行っておきましょう。設定を行うには、[オプション] をクリックします。



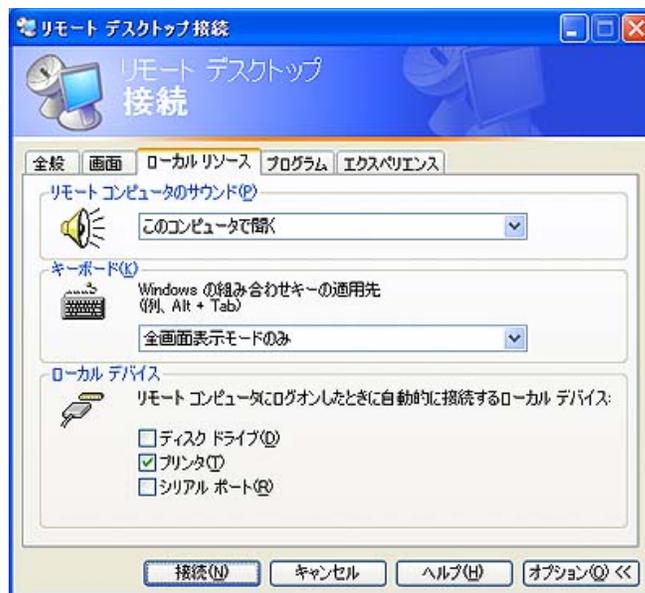
→ インターネットを通じて、外部から接続する場合は [コンピュータ] の欄に接続するコンピュータのIPアドレスを入力します。あとはそのコンピュータで利用しているアカウント名を [ユーザー名] に入力し、ログオンするためのパスワードを [パスワード] 欄に入力しましょう。アカウントにドメインを設定している場合は、[ドメイン] にドメイン名を入力します。



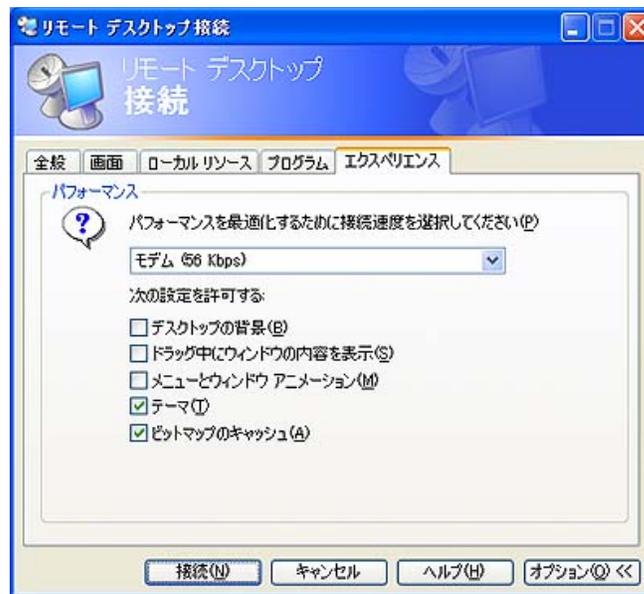
→ [オプション] の [画面] タブでは、接続するコンピュータのデスクトップサイズと画面の色数を指定することができます。接続するコンピュータを完全に自分のマシンのようにコントロールしたい場合は [全画面表示] にしておくのがおすすめです。画面の色数は [画面の色] のドロップダウンメニューで選択できます。色数を少なくすればその分通信は高速になりますので、接続時に速度的なストレスを感じるようならば色数を減らすようにしてください。



➡ [オプション] の [ローカル リソース] タブでは、接続するコンピュータの各種リソース(周辺機器やサウンド機能など)をローカルのコンピュータでも利用できるかどうかを設定します。[リモートコンピュータのサウンド] のドロップダウンメニューで、リモートコンピュータのサウンドをローカルコンピュータで鳴らすかどうかの設定を行い、[キーボード] のドロップダウンメニューで、[Alt+Tab] キーのように組み合わせで動作するキー操作の適用先を選択できます。[ローカル デバイス] 内のチェックボックスにチェックを入れると、ローカルのコンピュータに接続されたディスクドライブ(ハードディスク、CD-ROMなど)や、プリンタ、シリアルポートにリモートコンピュータからアクセスできるようになります。例えば、[プリンタ] にチェックを入れれば、リモートコンピュータで開いた書類を、ローカルのコンピュータで直接印刷することができるようになります。



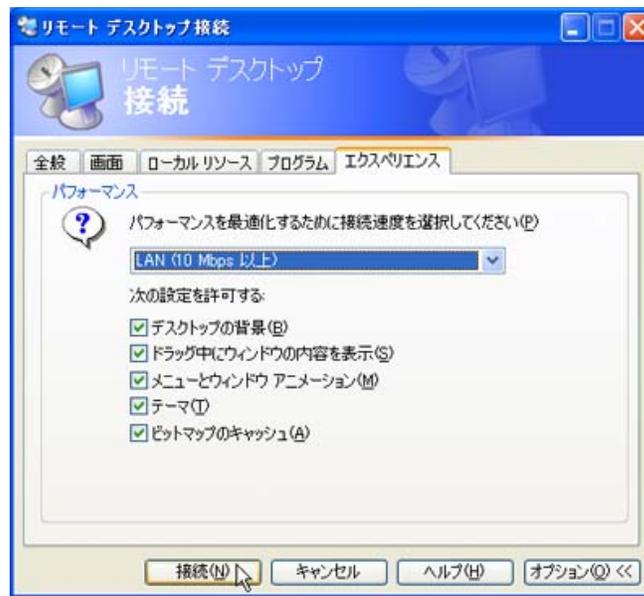
➡ [オプション] の [エクスペリエンス] タブでは、接続する際の全体的なパフォーマンスを調整することができます。



- ➔ LANや8MbpsのADSLなど、広帯域で接続している場合はドロップダウンメニューで [LAN(10 Mbps 以上)] を選択しましょう。



- ➔ すべての設定が終わったら画面下の [接続] ボタンをクリックしましょう。これで自動的にリモートコンピュータに接続を行います。



➔ 接続先、ユーザー名、パスワードに入力間違いがなければ、接続のマシンにアクセスすることができます。[エクスペリエンス] タブで [LAN (10 Mbps 以上)] を選択した場合はリモートコンピュータの壁紙も表示されます。接続に成功したら、リモートコンピュータをローカルコンピュータのように操作することが可能です。リモート状態を解除するには、画面の上にポインタを持っていくと[接続バー] が現れるので、[×] をクリックしてください。



➔ [オプション] の [画面] タブで、全画面表示ではなく、ウィンドウ表示にした場合、このようにローカルコンピュータのデスクトップ上にリモートコンピュータのデスクトップがウィンドウ形式で表示されるようになります。ウィンドウの [×] をクリックしてそのウィンドウを閉じれば自動的に接続が解除されます。



(リモートデスクトップ全体注意書き)

[リモートデスクトップ] 機能を利用するには、利用するアカウントにパスワードが設定されていなければなりません。パスワードが設定されていないアカウントで接続しようとしても、拒否されてしまうので、その場合は [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] で接続したいアカウントにパスワードを設定するようにしてください。また、接続する際には、リモートで接続するコンピュータが外部に対して「3389」番のポートを開いておく状態しておかなければなりません。会社の専用線のファイアウォールやブロードバンドルータがこのポートを閉じていたり、Windows XPの [ファイアウォール] 機能や市販のファイアウォールソフトの設定で「3389」番のポートを通過させない設定になっていると、外部から [リモートデスクトップ] 機能で接続させることができません。この場合はネットワーク管理者に相談してポートを開いてもらうか、ファイアウォールの設定を変更して「3389」番のポートを開くようにしてください。

[ページの上へ](#)

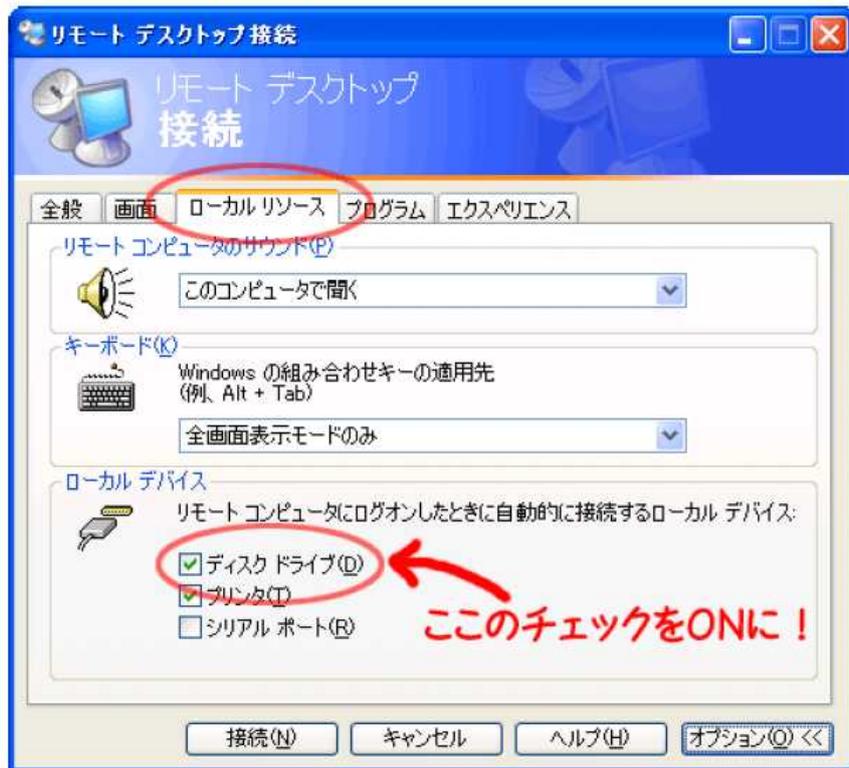
[プロフィール \(個人情報\) の管理](#) | [お問い合わせ先](#) | [無料ニュースレター](#)

© 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved. [お問い合わせ先](#) | [使用条件](#) | [商標](#) | [プライバシー](#) | [日本での個人情報の取り扱い](#)

Microsoft

GP サーバー上のファイルを自分の PC にコピーする方法

リモート (GP アプリケーションサーバー) とローカル (自分の PC) 間でファイルをコピーする場合は、「リモートデスクトップ接続」を開始する前に、「オプション」ボタンをクリックして、以下のように設定してください。



実際にファイルをコピーする場合は、画面上方にある nanoimg-appli.tp.chiba-u.jp バーの最小化ボタンでリモートウィンドウを最小化して、ローカルの PC 上にコピーしてください。